

第5号

特別支援教育だより



令和6年 2月1日(木)
発行:糸満市立兼城小学校
TEL:098-994-6321
校長:山田 浩也
担当:特別支援教育コーディネーター

通級指導教室とは、どんな教室？

「通級指導教室」では、心理的な要因による選択性緘黙の児童及び自閉症またはそれに類する児童だけでなく、LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥/多動性障害）、高機能自閉症等など、就学支援委員会の判定によって入級が決定された児童について、一人一人の教育的ニーズを把握し、実態に応じた指導を行います。学校、家庭、福祉など連携しながら、生活や学習上の困難の改善を図るとともに、児童の持てる力を高め、豊かな人間性と社会性の育成を図ります。

現在、兼城小学校には、「自閉症・情緒等通級指導教室（スマイル）」が設置されています。また、場合によっては他校通級という形態で、保護者送迎のもと、他校の通級指導教室に通うこともあります。

Q1. 通級指導教室とは、どんな教室ですか？

A1. 通常の学級の中で一部、特別な支援を必要とする児童を対象に設置されている教室

です。指導内容として、学習指導要領の①「自立活動」の内容から児童の実態に応じて必要な項目を選択すること。② 教科の補充指導として、児童のつまづきや実態に応じた教科の指導（自閉症、LD）、衝動性などの特性に配慮した教科の補充指導（ADHD 週に1時間程度、それぞれが持つ課題を解決・改善するために、個別または小集団でのトレーニングを行います。ここでいう「教科の補充指導」とは、子どもの困り感を改善・克服するための補充指導ということになります。単に教科の遅れを補充するための指導ではないということに注意が必要です。

Q2. 具体的には、どんな指導内容になりますか？

A2. 児童一人一人の状況に合わせた指導を行います。

指導方法は、①学級の授業を抜けて、別室で個別指導を行う。（取り出し指導）②学級の授業に通級担当が入り、様子を見ながら行う。など、児童の実態によってさまざまな方法があります。

「言語通級指導」では、正しい発音を身につける練習、音を聞き分ける練習、唇や舌の動きをよくする練習、コミュニケーションの力を育てる指導などを行います。

「情緒等通級指導」では、社会性やコミュニケーション能力の向上を目指した指導を行います。また、読み・書き・計算等から、特定の学びにおいて困っている児童には実態に合わせて、通常の学級やこれからの生活に生かせる学習の方法と一緒に探しながら支援していきます。

☆特に発達障害をもつ子は

対人関係やコミュニケーション、ソーシャルスキルなどに課題を抱えている場合が多く、個別指導と小集団指導を組み合わせることが効果的であると考えられます。

例えば、知識技能など個人の学習内容の習得や力量の向上については個別指導を中心に行い、対人関係や社会的なルールの理解と定着を図るためには小集団指導により実践的に行うなど、目的やねらいを明確にして、指導形態を工夫するようにします。

☆小集団指導の良い点

- ・ 子ども同士の関わりから人間関係を学ぶことができる
- ・ 集団のルールやきまりなど設定しやすいこと
- ・ 子ども同士が刺激しあえ、また、モデルとなることができる
- ・ 異年齢でグループを組むことにより、リーダーシップや責任感を育てることができる。

Q3. 通級指導はいつ終了できるのでしょうか？

A3. 児童に必要な力がついたときや、学校で定めた期限を限度として終了判定をします。

手続きの流れは、本人・保護者・関係職員と通級指導担当で面談を行い、終了の準備や書類作成を行い、系満市教育委員会へ『終了届け』を提出します。

Q4. 通級指導教室の利用について、誰に相談すればよいのでしょうか？

A4. 担任の先生や特別支援教育コーディネーターにご相談ください。

そこから教育相談や系満市就学支援検査に向けた話し合いの場を設け、子どもにとって最適の学びの場を考えていきます。

読んでみてね！



あれー？赤白帽子がない！
この鉛筆は誰のもの？
先生、宿題プリント忘れました！
机の上をきれいにしましょう！
教室には、持ち物の管理が苦手な子がいます。

(本の紹介より抜粋)
きみにとって本当に大切なものってなんだろう？実はそれを見つける力ぎは、毎日の整理整頓に隠されているんだ。ちょっぴり面倒なお片づけも、これさえ読めばどンドンやってみたくなる。目指せ、整理の達人！

☆ふたば1組で貸し出します。

Q2 の一例です！

体 (感覚統合)

- ◎目と手の体操
- ◎バランスボール
- ◎トランポリン
- ◎平均台
- ◎わなげ
- ◎運動ゲーム
- ◎風船バレー
- ◎だるまさんがころんだ

集中トレーニング

- ◎リラックストレーニン
- ◎聞くトレーニング
- ◎コグトレ
- ◎見るトレーニング (ナンバータッチ・ビー玉ころがし)
- ◎読み書き

SST
「力かげん」「あいさつ」「声の大きさ」「上手な聞き方」「名前をよぼう返事しよう」「怒っている時の私」

個別の課題

- 自分の特性に合った学習法をさがす
- (感情コントロール)
- ◎多動傾向
思い切り力を出す運動
ルールを示してから活動
- ◎こだわり傾向
ゆるやかなルールや時間で活動。見通しをもって流れに沿って動く
- ◎ゆっくり理解する傾向
情報処理の仕方にあった教材を選ぶ

令和5年度も、残り2か月となりました。「特別支援教育だより」の発行は、この5号で最終号となります。子どもたちの1年間の成長を感じながら、また新たな出会いを迎える子どもたちを、応援していきたいと思えます。併せて、これからも、特別支援教育の理解と推進が進み、子どもたちの支援の輪や和が広がるよう保護者・学校・医療やサービスにつなげていければと思います。1年間、ありがとうございました。

特支コーディネーター
前盛 舞

